



●左京選出の党府議・市議そろって街頭から訴え



●5月11日、原発ゼロ・シャボン玉パレードに参加



雇用・福祉・環境に 全力!

地域経済を守るために、増税反対の声をあげよ

消費税増税に、若者もお年寄りも子育て世代も業者も、多くの方が苦しんでいます。京都市の中 小企業調査の中でも「国内需要家の購買力がダウ ン」(南区・化学)、「4月以降の国内受注にあまり期待がもてない」(南区・機械)、「4月以降、消費税率引き上げの影響で購買意欲が減少」(左京・その他製造)と深刻な結果。

ところが、京都市は「緩やかな回復を見せつつある景気動向」を「加速」させるなどと答弁。国予算などを使って、「夏の京都」の宣伝や商店街の基盤整備のための補助金を増やすよう提案しましたが、消費税増税による消費低迷に対抗するだけの力はありません。京都市あげて10%への増税に反対の声をあげるよう求めました。

戦後補償問題で冷静な議論を呼びかけ

「一切の戦後補償が終結していることを強く主張する」という意見書案に対し、私は日本共産党を代表して反対討論に立ちました。日本企業側に被害者救済の努力を求めた最高裁判所判決などを紹介し、「日本企業がより安全に海外で活動するために政府がすべきことは、戦後補償問題を冷静な話し合いで早期解決す

るとともに、憲法9条に掲げる平和的外交的な手段で世界から紛争やその背景となる貧困を解決することに力を尽くすこと」と冷静な議論を呼びかけました。

残念ながら、意見書は自民・公明・民主・京都などの賛成多数で可決に。今後も、市議会で良識を発言しつづけます。

日本共産党 京都市会議員

とがし 豊

URL <http://www.geocities.jp/togawave/>

E-mail togawave@yahoo.co.jp



「時給1000円で月15万円位にしかならず、時間的に就職活動もままならない」(30代男性)など、派遣で働くみなさんの実態は大変。安倍政権は正社員から残業代を奪い、派遣労働者に一生ハケンを押しつける労働法制の改悪を狙っています。こんな暴走とは断固たたかいましょう。



「生涯ハケン」の押しつけ反対



●支持者の方に書いていただきました

3児の父として、これは非常に切実な問題であると市議会で一貫して求めていました。市長は「待機児童ゼロ」と発表しましたが、数字のごまかしです。入所申請しながら入所できなかつた人は900人超。さらに、定員を2割以上こえる子どもが入所する保育所もあり、保育所不足は深刻です。ご一緒に増設をましょう。

保育所を増やそう

琵琶湖疏水の本線が鴨川に突き当たる田辺橋(川端診療所北側)。フェンスが破れていて子どもが疏水に落ちないか心配!と住民の方から連絡。ただちに現場を確認、土木事務所にお願いし、修繕していただきました。

地域で奮闘
みなさんとともに
頑張っています

破れたフェンスを修繕